参考様式B5（自己評価等関係）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	空（スカイ）			
○保護者評価実施期間	令和7年10　月20　日		～	令和７年11　月４　日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	令和７年　11月13　日		～	令和7年11月17日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年11　月20　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーションには、電話対応、メール、連絡ノートにて、困りごとやご相談、普段の学校、自宅、事業所との様子等を話し合い、支援に携わっている。	時間帯等を考慮して保護者様に連絡等を取るようにしているがなかなか応答が無い保護者様には、送迎時に連絡が取れるようにしている。	お子さんの生活（忘れ物・季節感のない服装・食事）に関して無関心であると感じた場合、祖父母のご協力を得て問題解決に努めたり、なるべくお会いできる時間帯に送迎を組んでいる。
2	普段の生活（利用時）では、すべての領域に平等に療育を入れることが困難な場合は、土曜利用時の活動を活かし、工夫した内容を取り入れている。	職員全員が案を出し合い、「経験豊富な活動」お子さんたちが「楽しいと思える内容」「またやってみたい」と思ってもらい成長につながるような工夫とバランスを考えている。	柔軟な意見がでなくなる時があるので、インスタ等から新しい情報収集をしている。
3	活動内容と支援、写真にてお子さんの成長を知っていただくために毎月「スカイたより」を配布し、視覚で療育の内容をお知らせしている。またホームページに掲載し、月単位で更新している。	行事のマンネリ化を防ぐ。ホームページの更新について、他の仕事と関連から正直しんどい月があるが、楽しみに見ていただいている保護者様もみえるので、期待外れにならないように工夫と継続を維持している。	現在継続中であるが、職員からアイディアとお子さん達の成長に合わせて、発達につながる振り返りを個々にした後、次は全員で周知していく為に回覧をする。☆最後に保護者様の「いつもありがとうございます」のお言葉に感無量で、さらなる力が湧いてくる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会に関して、積極的でない。	コロナ感染症から、交流には若干今も不安がある。 保護者様からの声が上がらない。	父母会等については、職員間で何度か話し合っているが、殆どの保護者様から実行してほしいとの声が上がれば積極的に対応していくことも考慮している。また他事業所にお尋ねして、どのようなお考えであり実施してみえるのであれば参考にさせていただく。
2	バリアフリー化の対応	事業所の現在としてバリアフリー化は必要ないと思っているができる範囲からやってみてはどうかと迷いもある。	現在はそれほど必要ないと思っているが、今後必要となる可能性はないとは言い切れず、受け入れ態勢を整えることも視野に入れて、職員とも話し合ったり、介護に関する情報も取り入れていく。
3	職員のアンケート中に「わからない」という回答がある。	事務関係、送迎関係、療育関係（保護者相談含む）等すべてを把握することは困難に近く、業務量が多くなることは避けている。そのために業務を適材適所に分担して実施しているが、すべてにおいて関連業務でもあるが、どこまで理解、把握してもらえるかが課題である。	担っていただいた担当業務は、責任と自信をもっていただいた上で、他の職員の業務内容を知ることで協力体制を作っていただけるように思うので、勉強会などの機会を持つことも検討していきたい。